

新刊本のお知らせ

日本絵手紙協会 公式ブック

『基礎からわかる 絵手紙の本』好評発売中

重版出来!
しゅっぱたい



「絵手紙はかき方ではない生き方だ」——この小池邦夫のことばには絵手紙の魅力がすべて詰まっています。絵手紙を100年残し、手がきの文化を次世代へとつなぐために、絵手紙の大事な心を熱く、そしてシンプルにまとめました。初心者からベテランのかたまで、基礎からくり返し学んでいただきたい1冊です。

絵手紙で大事にしたい
7つのところ

- 1 ヘタでいい、ヘタがいい
- 2 よく見て、大きく書く
- 3 下がきなしの一発勝負
- 4 筆と紙の魅力
- 5 線を大切にゆくりがらう
- 6 心こめた言葉をかこう
- 7 かけたら必ず仕えよう



試し読みページはコチラから



- 〈もくじ〉より
- ・ 絵手紙をかいてみよう
 - ・ 絵手紙で大事にしたい7つのところ
 - ・ 春夏秋冬をたのしむ
 - ・ 筆墨の魅力を感じてみよう
 - ・ 自分だけの言葉を送ろう
 - ・ 「小池邦夫絵手紙を語る」
 - ◎ 絵手紙の創始者・小池邦夫による基本の考え方をしっかりと収録
 - ◎ 絵手紙のかき方を写真付きで分かりやすく紹介
 - ◎ 季節の絵手紙多数掲載。
 - ◎ 章ごとに計4つのQ&A



定価：1,650円(税込) 仕様：AB判120頁 カラー／モノクロ 発行：日本絵手紙協会

*送料：全国一律200円/1冊

〈ご注文総額4,000円(税込)以上で送料無料(同一送付先の場合)*各種割引対象外



遠藤 緑(埼玉)
1年中休むことなく活動している、植物はすごいないつも感心しています。



山田みさよ(新潟)
「まず咲く」が由来というマンサクの花。雪国に春の訪れを知らせてくれます。



山本忠実(63歳・三重)
大きく育ったブロッコリー、その茎にはいつの間にかたっさんの住人が。



樋木崎美智子(山口)

ひろばテーマ
「植物いろいろ」より

受講生募集中

認め合うしあわせ
岡本家の
人間力に学ぼう

〈対面講座・東京会場〉プラス+1講座

「聖家族——岡本太郎・一平・かの子」

3月に福岡で開催した
同講座のレポートは61頁

開催日：4月19日(金) 13:00~15:00

受講料(税込)：『月刊絵手紙』定期購読者3,900円(未購読者 4,700円)

開催地：東京・絵手紙ホール(JR「東京駅」地下鉄「日本橋駅」より徒歩5分)

講師：大杉浩司(元・岡本太郎記念館主任研究員)

*参加ご希望のかたはお電話ください(東京事務局03-3242-7880・平日10~17時)

次号予告 小池邦夫特集①「動かなければ出会えない」

- 88 ご注文方法
- 87 『月刊絵手紙』定期購読のご案内
- 86 「絵手紙友の会」からのお知らせ／編集後記
- 85 日本絵手紙協会へのアクセス★事務局移転のお知らせ
- 84 ボランティア部からのお知らせ
- 82 日本絵手紙協会・推薦教材
- 80 小池邦夫絵手紙タイムカプセル館日より
- 78 栄村国際絵手紙タイムカプセル館日より
- 76 投稿の募集要項
- 74 あなたの街の絵手紙情報(展・体験)
- 73 絵手紙通信講座のご案内
- 72 あなたも公認講師を目指しませんか？
- 68 講座のご案内
- 67 展覧会のご案内
- 66 日本絵手紙協会からのお知らせ

古きよきものをよく見る
◎兼岩幸恵の小さくても一歩
「絵手紙の筆」
◎阿部祥子のどんどん動いてどんどんかいてどんどん学ぼう
絵手紙の「感じる心」で——画像石・画像埴編
たのしうれしあいたし
節気を感じて「柔らかな暮らし」

- 50 月刊絵手紙2024年4月号
- 48 巻頭新刊『絵手紙の本』のご案内
- 47 絵手紙ボランティア部からお願い
- 30 学ぶ楽しさ、再発見！
『月刊絵手紙』ワークノート
- 26 ことばの旅
- 23 古拙微笑
- 20 登坂和雄の一語一絵(芽)
- 18 展覧会をみる「鉄斎」
- 16 柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎
- 10 自分の道を歩く——相田みつをの言葉
- 08 手紙のヒント 中川越
- 06 山田喜代春の詩画世界
- 05 新刊『絵手紙の本』活用ヒント
- 04 読者投稿ひろば
- 03 テーマ「植物いろいろ」
- 02 自由絵手紙／なんでも100字／活動報告
- 01 木もれ日「涙でぬれた一枚のはがき」 古川章子
- essay アーサー・ビナード
- 誌上レッスン 絵手紙教室
- ◎小池邦夫の絵手紙教室

Instagramもスタート! 公式Instagram etegami_salon

〈日本絵手紙協会協賛〉小池恭子さんのラジオ番組「絵手紙さろん」放送中!
狛江市のコミュニティFM「コアラジ」にて放送中(毎月第4土曜午後1時~1時25分)。
放送翌日には「YouTube」でも配信されます。



こちらから聞けます

〈表紙の絵手紙〉カリフラワー：加藤節子(東京) ヒヤシンスの球根：高城維子(埼玉)

ボランティア部に ぜひご参加ください!!

この数年ボランティア部への参加者が減少傾向にあり、絵手紙の仕分け・発送作業の人手が不足しています。届くのを心待ちにしてください。各施設へ、今後も円滑にお届けするために、ぜひお力を貸してください。



活動日 4月8日(月)、5月13日(月)、6月10日(月)

※以降の日程は毎月「ボランティア部からのお知らせ」(今月は84頁)にてご案内しますのでご覧ください。

時間 午前10時30分～12時30分 絵手紙発送作業
午後1時30分～3時30分 ミーティング(活動報告等)

場所 東京・絵手紙ホール(地図85頁)

◎公認講師を目指すかたは2024年度の申請より、発送作業への参加3回以上で「選択項目1単位」を取得することができます。(公認講師制度については本誌72頁をご覧ください。)

ボランティア部とは……

全国約50か所の施設への絵手紙のお届けと、首都圏の施設での絵手紙指導をしています。毎月の活動日には、ハートマーク係に寄せられた約800枚の絵手紙のお名前を確認し、絵柄ごとに分けて、同じモチーフが偏らないように発送しています。

Q&A

Q 初めてでも本当に大丈夫?

A 経験者とペアで作業しますのでご安心ください。

Q 一人で行っても良いですか? 何か準備はありますか?

A 事前予約や準備は必要ありませんので直接、日本絵手紙協会東京事務局の絵手紙ホールにお越しください。

Q 毎月参加しなければいけないの?

A 参加できる月だけで大丈夫です。

Q 午前の作業だけ手伝いたいのですが…。

A 午前みの参加も可能です。ぜひご参加ください。

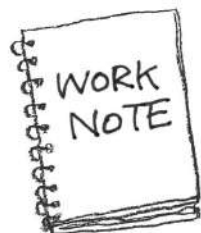
Q 遠方なので参加は難しいです。他にできることはありますか?

A ぜひ絵手紙を「ハートマーク」係までお寄せください。

(募集詳細は76頁)



ハートマークに届いた絵手紙より



学ぶ楽しさ、再発見！

『月刊絵手紙』

ワークノート

特集

4月号をあなただけの1冊に

今月は『月刊絵手紙』まるごとワークノートとして、書き込んだり、他のノートに写したり、学生気分ですべてもらえるような1冊を目指しました。

月刊誌はよく「教科書」と言われることが多いのですが、いざ「学ぶ」となると構えてしまうもの。そこで、教科書ではなくて「ワークノート」としてちょっと気軽な「発見」のお手伝いができたらと考えました。

4月号はあなたと一緒に身近な発見を楽しむ友だちです。月刊誌を携えて、あっちへこっちへ——好きなだけ好きな方向へ自分の世界を広げてみてください。

書き込むのに 適している筆記具

- 鉛筆、色鉛筆(濃いめのもの)
- ボールペン

*「ハイブリッド」などのインクがのるタイプのペンは、こすれたり、書いてすぐ閉じると反対ページが汚れますが、十分乾かせば大丈夫です。ネームペンなどの油性インクは速乾性もあってこすれませんが、裏写りして読みにくいかもしれません。ただし裏表紙は紙が厚いので適しています。



「ワークノート」の使い方

今月号には①～⑩までの「ワークノート」ページがあります。その都度取り組んでも、まずは全体を読んでからでも構いません。自由に書き込んでみてください。ワークノートページ以外にも、気づいたことなど、どこに書き込んでも構いません。切ってスクラップブックに貼ったりしても楽しいでしょう。とにかく好きなように4月号を使いきってみてください。

4月号を
書き込みで
いっぱい
にしよう！

さあ、どっちへいこうか？





新刊『基礎からわかる
絵手紙の本』
掲載図版で見る
活用
ヒント

おかげさまでご好評をいただいている『絵手紙の本』。この1冊にも学びの種がいっぱい詰まっています。教室で、ご家庭で、折にふれていろいろな発見を楽しんでください。



活用／
ヒント 例えば、黄色い絵手紙に注目してみる



『絵手紙の本』27頁掲載



『絵手紙の本』47頁掲載

活用／
ヒント 例えば、同じモチーフで違ったかき方をする。



『絵手紙の本』59頁掲載

受ける印象がこんなにも違います。出てくる言葉も変わってくるでしょう。



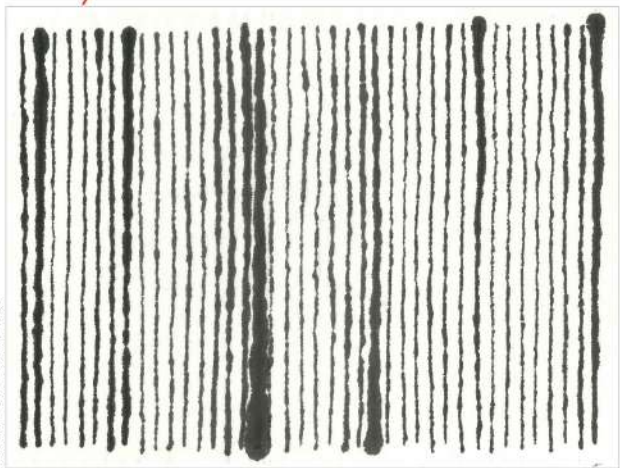
新たにかいた絵手紙



『絵手紙の本』43頁掲載

同じように丸くて黄色いものでも、種類もぬり方もさまざま。自分が好きな色の絵手紙からぬり方を参考にしてもいいでしょう。言葉もそれぞれの人柄が感じられるものばかり。そちらも着目してください。

活用
ヒント 例えば、「線トレ」を毎日本当にやってみる。



『絵手紙の本』17頁掲載

毎日やってみよう、と思ってもそうそうできるものではありません。だからこそ、この機会に本当にやってみませんか。

かいて、送って、
みんなでおしゃべり

ひろば

テーマ 「植物いろいろ」
季節を感じ、植物のいのちを思う。絵手紙で大切な「よく見る」力を発揮すれば、新しい発見がいっぱい！
自由絵手紙／なんでも100字／活動報告



秋野登志子 (64歳・北海道)
ネコヤナギの切苗をいただいた。ふくらみにワクワク。



重光真奈美 (福岡)
春には花、秋には紅葉、冬は赤い実と楽しませてくれるハナミズキ。



原内千里 (68歳・香川)
亡父が残した福寿草。今年も芽が出ました。作ってくれた叔母に感謝。



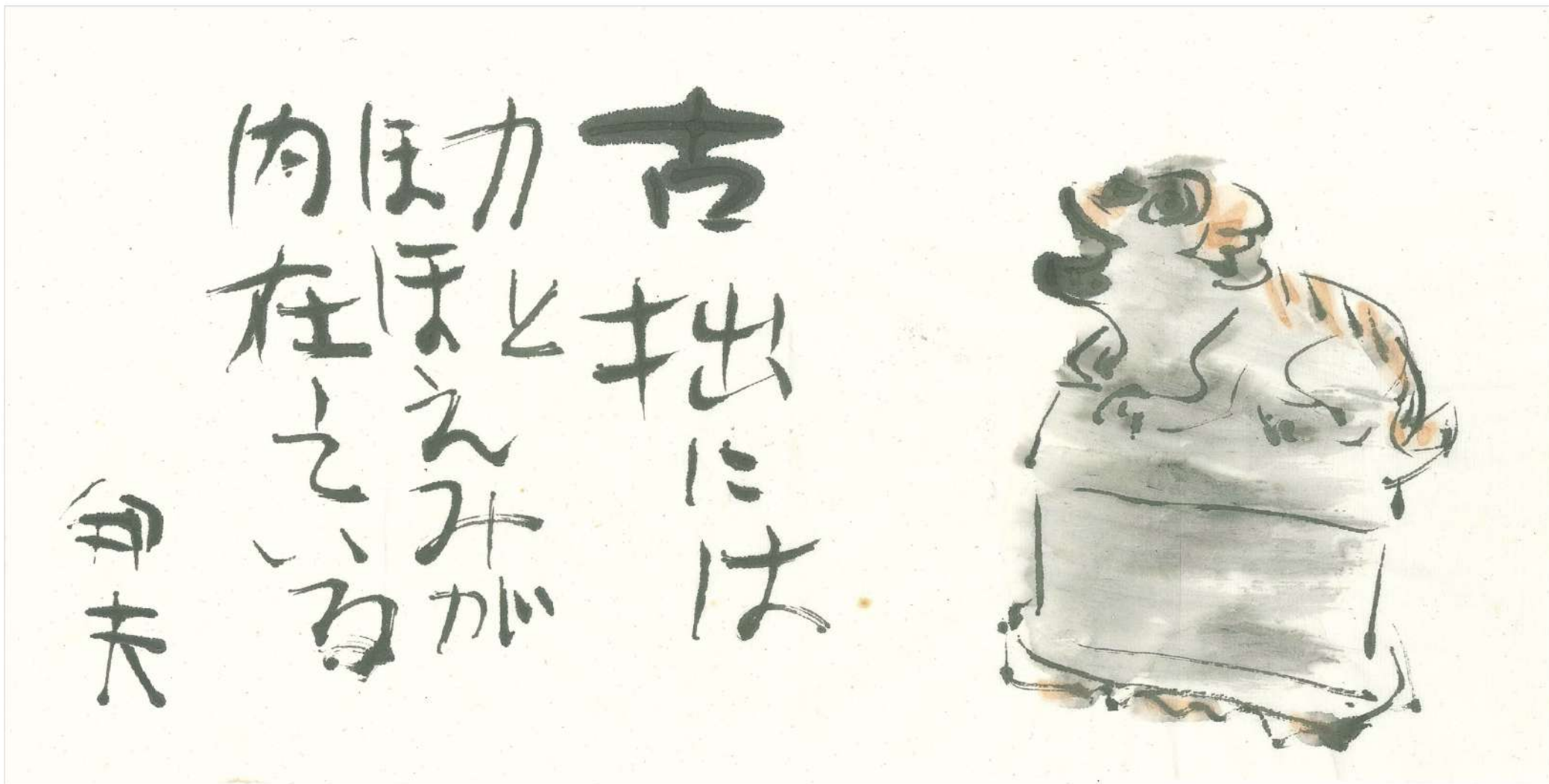
鴨川悦子 (福岡)
20年近く前、先輩にプレゼントしたクリスマスローズ。上手に根付け育ててもらい、命のつながりに感動。



谷川民子 (愛知)
繊細工のような黄色の花が咲く、ヒメリュウキンカ。



佐野喜代子 (兵庫)
庭の紫陽花に新芽が出て、小さな若草色がちよっぴり見えていますよ。



こいけ・くにお

絵手紙の創始者。1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいいヘタがいい」をモットーに絵手紙文化を広める。その活動が評価され、東京都狛江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。

誌上レッスン

初心から学ぶ『ヘタでいいヘタがいい』

絵手紙教室

月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう